

安全データシート

改定日：2025年 1月14日

1 化学品等および会社情報

・製品名	スタンダードオイルカラー
・供給者の詳細	株式会社クサカベ
住所	〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町3-3-8
担当部門	技術開発部
・緊急時の電話番号	048-466-7321
・FAX番号	048-465-3058

2 危険有害性の要約

・GHS分類	
物理化学的危険性	分類されない
健康有害性	分類されない
環境有害性	分類されない

- ・注意書きも含む
GHSラベル要素
絵表示

注意喚起語
危険有害性情報

- ・注意書き

安全対策

必要に応じて個人保護具や換気装置を使用し、曝露を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または禁煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置

換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さず、再使用する場合には洗濯すること。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合、無理に吐かせず、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
曝露または曝露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

保管

漏出物は回収すること。

破棄

容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。
内容物、容器は、法規制に従って廃棄すること。

3 組成、成分情報

- ・物質

単一化学物質
混合物の区別
危険有害成分

混合物
なし

4 応急措置

- ・吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
水でうがいをさせる。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・皮膚に付着した場合
多量の水と石鹼で洗うこと。
すべての汚染された衣類を脱ぐこと。再使用する前に洗濯すること。
- ・眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。
眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。
- ・飲み込んだ場合
嘔吐が自然に生じた場合は気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
飲み込んだ場合は、水で口内を洗う（その人の意識がある場合のみ）。
飲み込んだ場合は、無理に吐かせず直ちに医師の診断、手当てを受けること。

5 火災時の措置

- ・適切な消火剤
泡、二酸化炭素、粉末、乾燥砂。
- ・不適切な消火剤
棒状水、水噴霧。
- ・特有の危険有害性
燃焼の際は、一酸化炭素、亜硫酸ガスが生成される。また刺激性、腐食性のガスを発生する恐れがある。
高温の金属表面等に接触した場合、発生した蒸気によって燃焼や爆発が起きる可能性がある。
極めて燃え易い。消火後、再発火する恐れがある。
- ・特定の消火方法
火元への燃焼源を絶つ。
周囲への設備等に散水して冷却する。
- ・消火を行う者の保護
適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置
作業者は適切な保護具（『8.曝露防止および保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
全ての着火源を取り除く。
- ・環境に対する注意事項
環境中に放出してはならない。
- ・除去方法
回収
破棄
床面などにこぼれた場合には、直ちに空容器に回収した後、ウエス等拭き取る。
回収した漏出物は廃棄上の注意に従って破棄する。
- ・二次災害防止策
火気厳禁。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7 取扱および保管上の注意

- ・安全な取扱いおよび
保管上の注意
技術的対策
加熱すると爆発の恐れがある。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
換気の良い区域でのみ使用する。
眼、顔面用の保護具を着用する。作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。
取扱い後は手洗い、洗顔を十分に行う。
- 安全取扱注意事項
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
皮膚との接触を避ける。皮膚と接触した場合、直ちに多量の水または石鹼水で洗うこと。

保管

眼との接触を避ける。眼と接触した場合、直ちに多量の水で洗い、医師の診断、手当を受けること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 法規に従って、耐火構造、危険物施設に保管する。
 消防法危険物1,6類と混載してはならない。
 直射日光、過度の湿気を避け、冷所にて、屋内保管すること。
 着火源から離して保管する一禁煙。
 容器を密閉して保管すること。

8 暴露防止措置および保護措置

・許容濃度 RCP-TWA

・設備対策

発散源を密閉する設備、局所排気装置またはプッシュプル型換気装置を設けること。

・保護具

呼吸器の保護具

送気式もしくは自給式呼吸器等適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

不浸透性帯電防止手袋、ニトリル製手袋等適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

側板付き普通眼鏡型またはゴーグル型等適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚および

身体の保護具

作業着、安全靴、保護長靴。必要に応じて個人用の保護衣、保護面等を着用すること。

・衛生対策

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

9 物質的および化学的性質

・外観

ペースト状

・臭い

植物油臭

・引火点

256℃以上

・溶解度

水

不溶

有機溶媒

エステル、ケトン、芳香族系炭化水素に可溶

10 安定性および反応性

通常の保管および取扱いの条件では安定と考えられる。

11 有害性情報

情報なし

12 環境影響情報

情報なし

13 破棄上の注意

・残余廃棄物

内部処理の場合

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。

焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除外装置のある焼却炉の使用を推奨する。

外部委託処理の場合

産業廃棄物に処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

・汚染容器および包装

容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体に基準に従って適切な処理を行う。

空容器を破棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

・国連分類

分類されない

国連番号
品名（国連輸送名）
容器等級

- ・ 特別の安全対策
および条件

保護具、消火器を携帯する。

梱包や袋が破れないように丁寧に取扱う。

容器に漏れがないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にを行う。

容器が破損しないよう、水漏れや乱暴な取扱いを避ける。

15 適用法令

- | | |
|--|--------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防法 ・ 海洋汚染防止法 | 対象外
施行令別表第1有害液体物質（Y類） |
|--|--------------------------|

16 その他の情報

- ・ その他

本「安全データシート」は、本製品を適切にご使用して頂くために、必要かつ注意しなければならない事実を簡潔にまとめたものであり、通常の実施を対象としたものです。

本品の使用法については「安全データシート」を参考の上、使用者の責任においてお決めください。

ここに記載された内容は、法令の改正および新しい知見に基づき改定されることがあります。

記載内容のうち、含有量、構成比、物理、化学的性質などの値は品質保証値ではありません。

本「安全データシート」に記載されている内容は、情報提供であっていかなる保証をするものでもありません。